

平成 27 年 5 月 29 日



国土交通省

九州地方整備局宮崎河川国道事務所

記者発表資料

埋設護岸（サンドパック工法）へのアカウミガメの産卵が確認されました

平成 26 年 3 月に整備が完了した大炊田海岸（場所：宮崎市佐土原町下田島地先）の埋設護岸において、5 月 28 日にアカウミガメが産卵していたことが、特定非営利活動法人宮崎野生動物研究会の現地調査で確認されました。昨年度埋設護岸を整備した近隣の住吉海岸では、5 月 19 日に埋設護岸上にアカウミガメの上陸が確認されており、本格的な産卵シーズンに入りました。

宮崎河川国道事務所では、アカウミガメの上陸及び産卵状況を注視し、引き続き、環境・景観・利用に配慮した「宮崎海岸の侵食対策」を進め、海岸背後地の安全・安心の確保に努めてまいります。

【 参 考 】

「宮崎海岸の侵食対策」とは？

3 つの柱からなるプロジェクトです。これまでに失われた宮崎海岸（宮崎港北端～一ツ瀬川河口間）の砂浜を回復・維持するために、①養浜等を実施し、②突堤を整備します。また、砂丘が海岸に面しているため急激な侵食の危険性がある区域（大炊田海岸の一部、住吉海岸の一部）においては、浜崖頂部高の低下を防ぐために、③埋設護岸を整備します。

お問合せ先

国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所

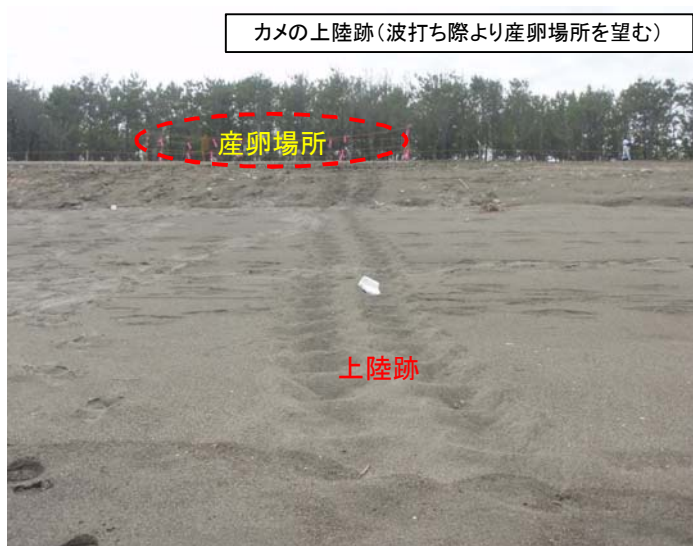
代表：0985-24-8221

技術副所長 竹下 真治（内線 204）

海岸課長 堤 宏徳（内線 381）

PCホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

【現地状況写真】埋設護岸(サンドパック工法)へのアカウミガメの産卵(平成27年5月29日撮影)



○産卵場所(イメージ図)

